

防災教育推進連絡協議会 ～田辺市防災教育の取組～

2016年8月21日(日)
田辺市教育委員会 嶋口善一

東日本大震災時の田辺市の様子

- ・大津波警報発令後、学校教育課長から指示。
「…そこまでしなければいけないの」
帰宅後、親子で海岸へ津波を見に行った。
「なぜ逃げなかったのか？」
「今まで80年生きてきて、そんな津波は見た
ことがないから」

自然災害に対する意識の低さ

台風12号水害について

- ◆ 台風12号は、動きが遅く、記録的な大雨をもたらした。
- ◆ 本宮地域では、2日間で1000mmを超える雨量となり、和歌山県南部での観測史上最大の雨量。



田辺市の被害状況

- ・人的被害
死者8人、行方不明1人
- ・家屋被害
全壊90戸、半壊233戸、床上浸水335戸、床下浸水290戸

【避難の状況】

- ・9月4日のピーク時 468世帯1,051人が市内各所の避難施設(全数190:学校38)に避難
- ・熊野地区の土砂ダム・警戒区域として12月3日までの3か月間避難生活(19世帯29人)
- ・伏菟野地区・伏菟野小学校を避難施設として使用(仮設住宅が建設される10月末までの2か月間、教室を開放。)

H23/9月 台風12号災害避難所風景(本宮中学校体育館)



田辺市防災教育担当者会

- ・小学校27校、中学校14校、計41校に防災教育担当者を設置。

<組織>

沿岸部ブロック	11校
中山間部ブロック	10校
山間部ブロック	20校

田辺市防災教育担当者会の取組(H25～)

- 平成25年度
 - ・津波防災シンポジウムの開催
 - ・防災教育実践集録の作成
- 平成26年度
 - ・「田辺市防災教育の手引き」づくり
- 平成27年度
 - ・「田辺市防災教育手引き」完成
 - ・研究授業の実施
- 平成28年度
 - ・「手引き」活用授業の交流
 - ・研究授業

防災教育担当者会



津波防災シンポジウム H25.11.5



津波防災シンポジウム H25.11.5



片田先生(群馬大)



菊池のどかさん

田辺市防災教育の手引き



各ブロックごとに作成

小学校 低学年・中学年・高学年
中学校 1年生・2年生・3年生

- ・各学期に1時間の指導案を掲載(全56時間)
- ・改善指導案がファイリングできる

ブロック別 研究授業



各ブロックごとに行った研究授業を10分間のダイジェスト版にまとめ、全体会で視聴し交流を行った。